



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

いつものときも、もしものときも、地域に貢献するごみ処理施設

# “フェーズフリー”防災拠点 今治市クリーンセンター



ジャパン・レジリエンス・アワード

2019



 地域の「指定避難所」

(株)タクマ 戸崎正裕 (tozaki@takuma.co.jp)

ご不明な点やご相談等ございましたら、お気軽にお問合せください。(タクマHPやYouTubeなどでも紹介しています)

# 今治市クリーンセンターの特長

- 廃棄物処理施設に**避難所**としての機能を付加
- 災害時、「ごみ処理継続（災害廃棄物処理）」と「避難所開設・運営」が両立できるよう、**ハード、ソフト両面での防災の取組**を実施
- 日常の価値と災害時の価値の両方を高める**フェーズフリー**の概念を導入

## 安全・安心で人と地域と世代をつなぐ今治市クリーンセンター（今治モデル）

■ 廃棄物を安全かつ  
安定的に処理する施設

■ 地域を守り  
市民に親しまれる施設

■ 環境啓発・体験型学習  
及び情報発信ができる施設

### 平常時

- 廃棄物処理
- 地域への電力供給
- 環境啓発活動
- 市民活動の場
- イベント開催
- 施設情報発信



### 災害時

- 廃棄物処理継続
- 災害廃棄物処理
- 避難所運営
- 災害情報発信



ハード面の取組（強靱な施設、設備）

ソフト面の取組（人的支援 / 地域のつながり）

# ソフト面の新たな取り組み ～地域の安全・安心を「協働」で実現～

## BCP(事業継続計画)

災害発生時の重要業務である「可燃ごみ処理」「避難所機能」を継続  
「今治市 事業継続計画」を念頭に、市と協議の上で策定  
⇒災害時に**市と特別目的会社(SPC)**が同調して**行動**できるようにしている



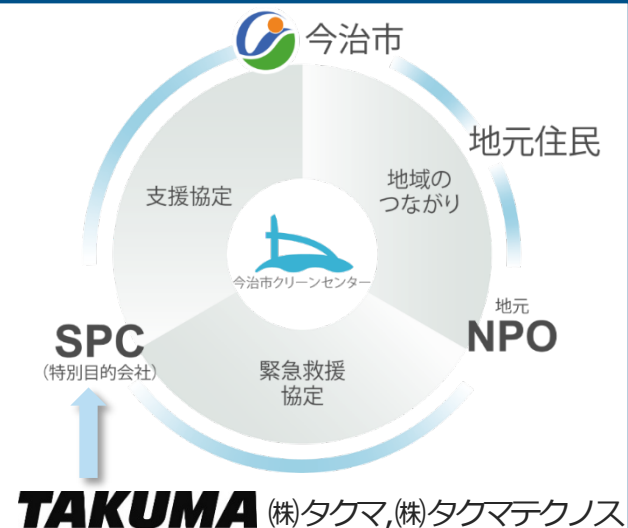
## 協働体制

### ▶ スムーズな避難所運営

- ・ 避難所の開設・運営は、**市とSPC**が協力して実施
- ・ 豊富な災害支援活動実績を持つ**地元NPO**の人的サポート

### ▶ 災害ごみの円滑処理

- ・ タクマグループより、**災害ごみ処理経験者を運転員に配置、指導者派遣**



## 訓練

市とSPC、地元NPOに加え、地元住民とも共同して「避難所開設訓練」や「炊き出し訓練」を**毎年実施**  
**毎年の訓練から改善を行う**ことで、個々の対応能力を向上するとともに、協力体制を強化



# フェーズフリー ～平常時にも役立つ防災の取り組み～

防災の取り組みを平常時にも利用できるようにし、日常の価値と非常時の価値の両方を同時に高める(フェーズフリー化)。

施設への愛着→災害時に安心して避難できる(防災力向上)。

フェーズフリーの詳細は、[HP](#)をご覧ください



社会

市民の活動に利用



経済

電力購入ピークカット



社会

イベントサポート



環境

業務用車両

大研修室

常用非常用  
兼用発電機

いつも

(平常時)

もしも

(災害時)

地元NPO

電気自動車



避難所に利用



停電時の施設内電力供給



避難所運営サポート



移動電源